

活動報告

団体名	あまみら
活動名	被災住民が「好きだった天ヶ瀬温泉」を思い出し郷土愛を再醸成するための場づくり事業
活動期間	2021/04/01～2021/06/30
活動の成果	<p>【ボランティア募集しながらの物件の整備】様々な要因で地域の絆が希薄になっている天ヶ瀬温泉街に地域住民が集まれる場所の整備と、郷土愛を再確認できるきっかけ作りを目指し本事業は始まった。物件改修中は、業者さん当団体のメンバーを中心に学生やボランティアさんも集まり、地域住民と交流する場もあり、賑わいが生まれていた。また住民さんは物件を気にして、様子をみにきたり物件を通じ所有者の住民さんのことを想ったり地域の絆を感じる場面が創出できた。</p> <p>【地域住民の思い出を聞くワークショップ】地域住民の想いを聞く部門では、インタビューを通して被災住民のニーズ調査や話をする場所を作ることができた。インタビューでは、「地域に住み続ける理由」や「地域への想い」を聞くことができ、当団体のメンバーも新しい気づきをもらい活動へつなげることができた。住民から聞いた想いをまた別の住民へ繋げて、地域の絆が深まるような取り組みを今後も継続していきたい。他団体とも連携して事業を進めることができ、復興の輪が継続して広がっていることを実感でき地域住民へ還元することもできた。</p> <p>【展示用写真の選定、パネル作成】地域住民と写真を見ながら昔話を聞いていて印象に残ったのは「みんなが安心して、住み続けられるようにしてほしい」という言葉が多く住民から聞かれたことである。選定作業をする中で顔を合わせて住民が話をし、地域に対する想いを共有できたことは貴重な経験になると思う。</p> <p>【地域の味 餃子復活イベント】みなし仮設に入居している住民さんと被災地域に住み続けている住民さんの交流の場を作れたこと、地域の思い出の味である餃子を通して地域住民の絆や郷土愛を再確認するきっかけを作れたことは地域にとって意味のあることだったと感じる。物件所有者の方も、久しぶりに地元へきて、近所の人と作業することで笑顔がたくさん見られ、たまにこういうことがあると嬉しいと、地域のつながりを再確認できたようであった。</p>
寄付者へのメッセージ	令和2年豪雨で被災した天ヶ瀬地区へのご寄付、ご支援本当にありがとうございました。災害や新型コロナウイルスの影響で地域の絆や繋がりが希薄になっていましたが、今回の取り組みを通して、地域住民同士の繋がりを作ることができ、また今後継続して、集まって郷土愛を再確認できる場所の整備ができました。これから、さらに活用を進めて、災害からの復興を目指して、地域の方と一緒に取り組んできたいと思っております。この度のご支援誠にありがとうございました。

(活動のようす)

